

# (案)

## 大垣市教育振興基本方針

～ 今後10年先を見通した大垣市教育のあるべき姿 ～

ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣

子どもたちの豊かな心や主体性を育てる家庭教育を充実します  
子どもたちが未来に希望が持てる教育環境を整備します  
学校・家庭・地域が連携・協力し子どもを守り育てます  
生きがいを持って学習ができる機会を創出します  
郷土の歴史や伝統文化を守り後世に継承します

平成 21 年 8 月

大垣市教育委員会

# 目 次

## 第1章 大垣市教育振興基本方針の策定にあたって

1. 策定趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 策定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
4. 手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 第2章 大垣市の教育と市民の姿について

1. 教育と風土・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 市民の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 子どもの姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

## 第3章 大垣市の教育の現状について

1. 学校教育分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2. 社会教育分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
3. 生涯スポーツ分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4. 芸術文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
5. 文化財分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
6. 教育行政分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

## 第4章 大垣市教育振興基本方針の骨子

1. 骨子の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
2. 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
3. 市民の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
4. 基本的な視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
5. 重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
6. 分野別振興計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
7. 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

## 第5章 各分野の方向性について

1. 方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2. 大垣市教育振興基本方針イメージ図・・・・・・・・・・ 24

## 第1章 大垣市教育振興基本方針の策定にあたって

### 1. 策定趣旨

平成18年12月に教育基本法が改正され、新しい時代の教育理念が明示されると共に、教育基本法第17条2項の規定に基づいて、地方公共団体には、地域の実情に応じた教育振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定された。

国においては、平成20年7月に「教育立国」を目指した「教育振興基本計画」が閣議決定され、改正教育基本法の理念の実現に向け、今後おおむね10年先を見通した教育の目指すべき姿と、平成20年度から24年度までの5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策が示された。

また、岐阜県においては、平成19年6月、各界の有識者からなる「明日の岐阜県教育を考える県民委員会」を設置し、岐阜県の新しい教育ビジョンの策定に向けた政策論議がスタートし、平成20年12月に今後の岐阜県教育が目指すべき基本的方向性を明らかにした基本理念・基本目標などが「岐阜県教育ビジョン」として策定された。

そこで、本市においてもこうした国や県の動向を踏まえ、「大垣市第五次総合計画」を上位計画として大垣の地域性、独自性を持たせながら、今後10年先を見通した大垣市の教育のあるべき姿と、教育行政を進めるための『道しるべ（指針）』として大垣市教育振興基本方針を作成するものである。

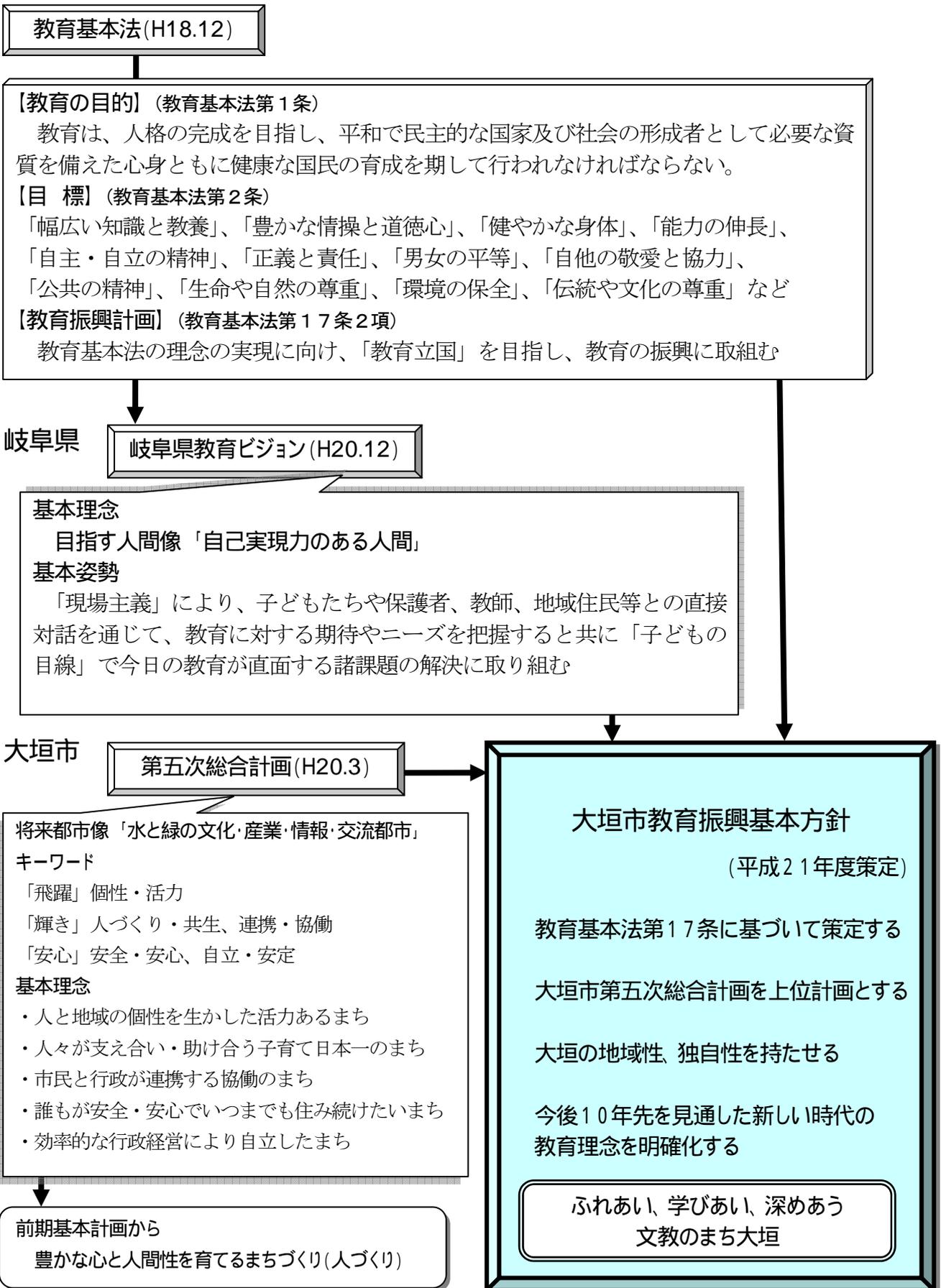
### 2. 位置づけ

- 教育基本法第17条に基づいて策定する大垣市の教育振興基本計画
- 「大垣市第五次総合計画」を上位計画とする教育分野の総合的な計画とし、今後策定する教育委員会各分野の振興計画との整合性を図りながら、各分野の連携を重視した、より具体的な目標などを示すもの。

### 3. 策定方法

- 学識経験者、学校教育・社会教育・青少年育成・体育振興・文化振興・図書館関係者、市民委員（公募）で策定委員会を組織する。
- 施策の立案や実施におけるプロセスの透明性を確保するとともに、幅広い意見を得るため、教育に関する市民アンケート調査、パブリックコメントを実施する。

## 4.手 順



## 第2章 大垣市の教育と市民の姿について

### 1. 教育と風土

- 大垣は、初代大垣藩主戸田氏鉄公の教育や文化を大切にする気風を歴代藩主が受け継ぎ、特に、八代藩主戸田氏庸が幕府の昌平坂学問所にならない藩校「学問所」を開くなど、一貫した文教尊重の施策に支えられ、文教のまちとして大きく発展してきました。
- 明治の初めには日本で最初の博士を次々に生んだ地であり、「学問のまち」「博士のまち」として有名で、また、鉄道など様々な分野で日本の近代化や発展に活躍された人も数多く輩出したことで知られています。
- こうしたことから、大垣は今日まで長年にわたり教育を大切にする土壌を培い、「文教のまち」といわれてきました。
- しかしながら、大垣が「文教のまち」であるということが、市民アンケート結果を見る限り、市民の間に広く浸透していない状況にあります。
- 今後、本市が「文教のまち」として広く市民の中に根付き、発展させていくためにも、市民の心に響くような教育施策を地道に進め、普及啓発をしていくことが求められます。

◇大垣市が「文教のまち」といえると思うかの問いに、「思う」が約18%に対し、「思わない」の26%と「どちらともいえない」の約51%をあわせると約77%の人が「文教のまち」と思っていない。

◇しかし、「思う」の約67%が50歳以上と、年齢が高くなるほど大垣市を「文教のまち」と思う割合が高くなっている。(平成21年6月実施「大垣市教育振興基本方針策定のための市民アンケート調査」(以下「教育方針市民アンケート」という)から)

☞ 文教のまちを実感できる施策や環境整備が必要であり、特に、若年層に対する啓発が大切である。

◇今後、文教のまちとして発展していくためには、何を大切にしたらいいかの答えの上位3つは、「子どもが未来に夢と希望を持てる教育環境を整備する」「郷土の歴史や伝統を守り、後世に継承する」「いつでも自由に学習機会を選択し、学ぶことができる生涯学習社会をつくる」となっている。(教育方針市民アンケートから)

◇地域・まちづくり活動について、今後参加してみたいとしているのは、「生涯学習、文化、スポーツ活動」が最も多く、次いで「福祉活動」「環境保護活動」「地域の防災・防犯活動」と続いている。(平成18年6月実施「大垣市第5次総合計画策定のための市民アンケート調査」(以下「5次総市民アンケート」という)から)

☞ これらから想起される文教のまちとして大切にしていくことは、「子どもが未来に夢と希望を持てる社会」「郷土の歴史や伝統の継承」「生涯学習社会(生涯学習、文化スポーツ活動が手軽にできる社会)の創出」などである。

## 2. 市民の姿

- 大垣市民の学習活動や奉仕活動等に対する意欲は強く、芸術、文化活動をはじめ、スポーツに親しむ市民も多く、大垣の市民性を高めています。これは、本市の社会教育面における特徴として、長い歴史をもつ成人学校と、市民力を結集してつくられた体育連盟、文化連盟、そして文教協会の存在が挙げられます。
- まず、成人学校は、昭和26年5月に「学ばんとするすべての人のために」と、第1回を開講して以来、今日まで、実に58年にわたり、その数139回におよび、数多くの市民の学びの意欲の喚起とその手助けをしてきました。これらの受講生等の地域への広がり、昨今の地区センターまつり等の盛り上がりに見られるように、市民の生涯学習活動の成果の現れであるといえます。また、かがやきライフタウン構想の礎の一翼を担ってきたともいえます。
- 一方、市民スポーツを普及振興し、市民の体力向上を図ると共に、地域社会の発展に寄与することを目的に体育連盟が昭和26年5月に、また、教育尊重の伝統にかんがみ、その風尚を作興し、本市の教育の刷新充実を図るため文教協会が昭和39年11月に、さらには、大垣地域における芸術文化事業の啓発・育成に努め、市民文化の振興に貢献するため文化連盟が昭和56年11月に、それぞれ設立され、今日の本市の教育・文化・スポーツの発展に大きく貢献をしてきたといえます。
- とりわけ、これらの団体の特異な点は、それぞれの関係者だけでなく、多くの市民や市民団体、加えて企業および企業人が積極的に参画し、教育や文化、スポーツの振興に対する大きな力となっている、これが他都市にはない大垣の誇るべき風土のひとつであるといえます。
- また、大垣の市民性を考えるとき、市民アンケートや人国記等からは、『奉仕の精神、共同意識が強い』『郷土愛が豊か』『清らかさ、純真さ、やさしさ』が浮かび上がってきます。
- さらには、地域の学校を大切にし、地域のまちづくりに理解があり、文化芸術への関心が高い市民性であることもうかがえます。
- こうした大垣人のよき風土や市民性をさらに伸ばしていくことが求められ、そのための大きな役割を担うのは教育であり、教育の使命ともいえます。
- そこで、「学びへの意欲」や「奉仕の心」を大切に、「かおり高い文化」や「郷土を愛する心」を育て、「スポーツ等を通して健康な人」であふれるまち大垣を創造することで、大垣市の教育力の再生と「文教のまち大垣」の復活をめざしていく必要があります。

◇文教のまちだと答えた人の最も多い答えの上位3つは、「奉仕、福祉、街づくりに対する市民意識が高い」「地域の学校を大切にするなど教育を尊重する伝統文化が息づいている」「市民の文化芸術活動が盛ん」となっている。

◇大垣市民のイメージに最もあうと考えられる姿は何ですかの問いに、「互いに支えあい、奉仕の心を持つやさしい大垣市民」が最も多く約34%、次いで、「郷土を愛し、郷土のためにつくす大垣市民」が約25%、「文化や芸術を愛し、感性豊かな大垣市民」が約13%となっている。(教育方針市民アンケートから)

☞ キーワード「奉仕の心」「まちづくりへの意識」「教育尊重」「豊かな感性」「やさしさ」「郷土愛」「共同意識」

◇吉岡勲氏が「岐阜県人」のなかで、『美濃・飛騨はそれぞれ一つの単位としての歴史が長く、独自の性格をつくってきている。早い話が人国記は次のようだ。(中略)「美濃は全体として意地が水晶のようにきれいだ。水晶は磨かなければ光らないが、美濃は根性が良いので、垢を早くけずり落として、よく道理に従う。しかし美濃を東西の二つに分けていえば、西濃は、滑らかそうに見える反面、徹底するところが少なく、言葉は風流である。(以下略)』と述べている。([「岐阜県人」\(新人物往来社\)から](#))

(※人国記：北条時頼の作品といわれている)

◇『美濃の大垣二度より三度、来れば住みたい、暮したい、アレサ水の都は意気のまち』…大垣小唄の文句のとおり、まったく大垣は暮らしよいところであることは間違いないようである。それは官吏や警察官などで転々と勤め先を変った果てに大垣を永住の地と定めて住み着く人が随分多いように思うのである。([「改定復刻 大垣ものがたり」社団法人大垣青年会議所発行から](#))

☞ キーワード「純真さ」「すなおさ」「人情味が深い」

#### 《参考》

「飛騨は律儀で愚だ。その愚かさぶりは、日本広しといえども、これ以上の国はないと決め込んでいる点でも分かる。井の中の蛙といえよう。ただ生まれつきは鉄石の性と言ってよい」([「岐阜県人」\(新人物往来社\)から](#))

### 3. 子どもの姿

- 近年、少子高齢化、高度情報化、国際化の進展や経済的な豊かさの実現など、社会が成熟化する中で、家庭や地域の教育力の問題、人間関係の希薄化、子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、いじめや問題行動など、全国的に見ても多くの面で子どもを取り巻く課題が指摘されています。
- 大垣の子どもの基本的な生活状況は、平成20年の全国学力・学習状況調査等から、次のことが浮かんできます。

#### 《家庭や地域とのかかわり》

- 「住んでいる地域の行事に参加する」「住んでいる地域の歴史や自然に関心がある」は、全国平均を上回っており、地域とのかかわりが強く現れています。しかし、「家の人と学校での出来事について話をする」「家の手伝いをしている」や「近所の人にあつたときは、あいさつをする」では、全国平均を下回っており、家庭におけるかかわりや、地域の人とのかかわりが希薄になっている姿があります。

◇「住んでいる地域の行事に参加する」の問いに、「参加している」大垣市の小学生は76.0%、中学生は56.5%に対し、全国の小学生は59.9%、中学生は37.0%となっている。

◇「住んでいる地域の歴史や自然に関心がある」の問いに、「関心がある」大垣市の小学生は53.6%、中学生は24.6%に対し、全国の小学生は48.2%、中学生は23.5%となっている。

(平成20年全国学力・学習状況調査(以下「学習状況調査」という)から)

☞ 小中学生共に地域行事への参加率が非常に高く、地域社会とのかかわりが強い。

◇「家の人と学校での出来事について話をする」の問いに、「話をしている」大垣市の小学生は69.0%、中学生は56.5%に対し、全国の小学生は69.2%、中学生は57.9%となっている。

◇「家の手伝いをしている」の問いに、「手伝いをしている」大垣市の小学生は73.0%、中学生は55.2%に対し、全国の小学生は77.5%、中学生は60.6%となっている。

◇「近所の人にあつたときは、あいさつをする」の問いに、「あいさつをしている」大垣市の小学生は87.9%、中学生は80.1%に対し、全国の小学生は88.7%、中学生は82.7%となっている。(学習状況調査から)

☞ 家庭や地域の人とのかかわりが、全国と比較して若干低い、規範意識は概ね身についている。

#### 《学ぶ意欲等》

- 「家で計画を立てて勉強する」「家で普段1時間以上の勉強をする」「家で予習・復習をする」と答えた児童生徒は、全国平均を大きく上回っており、学習習慣は概ね身につけているといえます。

◇「家で計画を立てて勉強する」の問いに、「勉強している」大垣市の小学生は68.3%、中学生は42.2%に対し、全国の小学生は52.0%、中学生は34.2%となっている。

◇「家で普段1時間以上の勉強をする」の問いに、「勉強している」大垣市の小学生は72.7%、中学生は79.9%に対し、全国の小学生は56.1%、中学生は65.4%となっている。

◇「家で予習・復習をする」の問いに、「予習している」大垣市の小学生は37.3%、中学生は40.2%に対し、全国の小学生は35.4%、中学生は28.4%となっている。(学習状況調査から)

☞ 学ぶ意欲は全国平均を大きく上回っており、学習習慣は概ね身についている。

○また、「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒も全国平均を上回っているが、小学6年生の85%から中学3年生では71.1%に大きく下がっています。子どもたちが夢や目標を持ち続けられるように、発達段階に応じた取り組みが必要です。

◇「将来の夢や目標を持っている」の問いに、「夢や目標を持っている」大垣市の小学生は85.0%、中学生は71.1%に対し、全国の小学生は84.7%、中学生は70.7%となっている。(学習状況調査から)

☞ 小学生と比較して中学生は約14%下がっているため、未来に夢を抱き、実現していく力を育てる教育が必要である。

## 《体験活動》

○「海、山、湖、川などで遊んだことがある」「動物を飼育したり、花や野菜を育てたことがある」「包丁やナイフを使って調理をしたことがある」は、いずれも全国平均を下回っており、体力・運動能力の低下が懸念されることから、自然体験や実体験をする活動等の取り組みが必要です。

◇「海、山、湖、川などで遊んだことがある」の問いに、「遊んだことがある」大垣市の小学生は79.8%、中学生は75.9%に対し、全国の小学生は84.4%、中学生は77.2%となっている。

◇「動物を飼育したり、花や野菜を育てたことがある」の問いに、「育てたことがある」大垣市の小学生は77.0%、中学生は67.5%に対し、全国の小学生は79.3%、中学生は69.9%となっている。

◇「包丁やナイフを使って調理をしたことがある」の問いに、「調理したことがある」大垣市の小学生は84.1%、中学生は79.7%に対し、全国の小学生は86.3%、中学生は81.7%となっている。(学習状況調査から)

☞ 全国平均を若干下回っており、自然体験活動や家庭教育の充実が必要である。

◇文部科学省では、昭和60年頃から子どもの体力・運動能力の低下傾向が続くと共に、肥満などの生活習慣病の増加が深刻な社会問題となっているため、中央教育審議会答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」を受け、平成15年度より子どもの体力向上推進事業を実施している。

(文部科学省HP 子どもの体力向上から [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/tairyoku/1266260.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/tairyoku/1266260.htm))

### 子どもの体力の現状

◇文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、子どもの体力・運動能力は、昭和60年頃から現在まで低下傾向が続いています。現在の子どもの結果をその親の世代である30年前と比較すると、ほとんどのテスト項目において、子どもの世代が親の世代を下回っています。一方、身長、体重など子どもの体格についても同様に比較すると、逆に親の世代を上回っています。このように、体格が向上しているにも関わらず、体力・運動能力が低下していることは、身体能力の低下が深刻な状況であることを示しているといえます。

### 子どもの体力低下の原因

◇子どもの体力低下の原因は、保護者をはじめとする国民の意識の中で、外遊びやスポーツの重要性を学力の状況と比べ軽視する傾向が進んだことにあると考えられます。また、生活の利便化や生活様式の変化は、日常生活における身体を動かす機会の減少を招いています。

さらに、子どもが運動不足になっている直接的な原因として、次の3つをあげることができます。

1. 学校外の学習活動や室内遊び時間の増加による、外遊びやスポーツ活動時間の減少
2. 空き地や生活道路といった子ども達の手軽な遊び場の減少
3. 少子化や、学校外の学習活動などによる仲間の減少

(子どもの体力向上HPから <http://www.recreation.or.jp/kodomo/intro/now.html>)

☞ 屋外で遊んだり、スポーツに親しむ機会を意識して確保すると共に、積極的に体を動かす機会を作っていく必要がある。

#### 大垣市児童生徒の体力の実態について(平成13年度以降)

- ◇小学校男子 「握力」は、すべての学年で全国平均を下回っているが、低下状況は止まる傾向にある。  
「50m走」は、すべての学年で全国平均を下回る傾向にある。  
「ソフトボール投げ」は、大きな変化はみられないが、全国平均をやや下回る傾向にある。
- ◇小学校女子 「握力」は、すべての学年で全国平均を大きく下回り、差が広がっている。  
「50m走」は、すべての学年で全国平均を下回っているが、差が小さくなってきている。  
「ソフトボール投げ」は、どの学年も全国平均並で、大きな変化はみられない。
- ☞ 小学校では、1年生から学年が上がるにつれて全国平均との差が縮まっていることから、体育の授業や学校行事などで子どもの体力を高める取組みが成果をあげている。
- ◇中学校男子 「握力」は、全国平均とほぼ同じであるが、近年、全体的に低下傾向にある。  
「50m走」は、ほぼ全国平均並みである。  
「ソフトボール投げ」は、全国平均をやや上回っている状況が、近年続いている。
- ◇中学校女子 「握力」は、低下傾向が続いていたが、全国平均並みに上昇した。  
「50m走」は、毎年の変動が大きい、ほぼ全国平均である。  
「ソフトボール投げ」は、やや全国平均を上回る傾向にある。(児童生徒の体力調査報告書から)
- ☞ 中学校では、全国平均並みになっているため、中学校に入学してからの部活動の加入率が高いことや、保健体育の指導内容の工夫が大きな成果をあげている。

#### 《規範意識》

- 「学校の決まりや、規則を守る」「友達との約束を守る」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」など、いずれも約90%前後の児童生徒が答えており、概ね規範意識が身につけているように思われます。しかし、「人が困っているときは、進んで助ける」と答えている児童生徒は、約75%まで下がっており、さらに「体の不自由な人やお年寄りや困っている人を手助けしたことがある」と答えている児童生徒は約40%前後まで下がっています。

- ◇「学校の決まりや、規則を守る」の問いに、「守る」大垣市の小学生は92.5%、中学生は89.9%に対し、全国の小学生は86.3%、中学生は87.4%となっている。
- ◇「友達との約束を守る」の問いに、「守る」大垣市の小学生は97.5%、中学生は97%に対し、全国の小学生は96.4%、中学生は96.1%となっている。
- ◇「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の問いに、「いけないことだと思う」大垣市の小学生は95.7%、中学生は90.7%に対し、全国の小学生は94.7%、中学生は89.5%となっている。
- (学習状況調査から)
- ☞ 規範意識は全国平均を上回ると共に、90%を超えていることから、概ね身につけている。

- ◇「人が困っているときは、進んで助ける」の問いに、「進んで助ける」大垣市の小学生は76.4%、中学生は73.5%に対し、全国の小学生は77.7%、中学生は72.7%となっている。
- ◇「体の不自由な人やお年寄りや困っている人を手助けしたことがある」の問いに、「手助けしたことがある」大垣市の小学生は37.8%、中学生は40.3%に対し、全国の小学生は41.3%、中学生は41.7%となっている。(学習状況調査から)
- ☞ 規範意識は高いが、実際、困っている人を手助けしたことがある児童生徒は40%程度で、全国平均を下回ると共に、行動が伴っていないのが現状である。

### 《保護者の願い》

- 保護者は、「挨拶やお礼などの礼儀作法を身に付けた子」、「命の尊さや思いやる心を持った子」「物事の善悪を判断することのできる子」「約束や社会のルールを守ろうとする子」等、社会における規範意識や倫理観を大切にする思いが強く、「基礎的・基本的な学力を付けた子」の回答を上回っています。

社会が急速に変化を遂げ、人間関係の希薄化が進む中では、基本的な生活習慣や最低限の規範意識、生命の尊さ、他人への思いやりなどを培うことが望まれています。

◇どんな子に育てて欲しいと願っているかの問いに、「挨拶やお礼などの礼儀作法を身に付けた子」が約65%、「命の尊さや思いやる心を持った子」が約61%、「物事の善悪を判断することのできる子」が約60%であったことから、社会における規範意識や倫理観の低下を懸念していると思われる。「教育方針アンケート調査(保護者)」から

☞ 社会における人と人とのつながりを回復し、地域コミュニティの再構築が必要である。

- これらのことから、子どもたちの姿としては、「豊かな心をもつ子ども」「志が高く学ぶ意欲をもつ子」「社会のルールを守り、思いやりのところを大切にする子」が求められます。
- そのためには、家庭だけでなく、地域社会における人と人とのつながりを大切にし、家庭、地域、学校が連携して、子どもたちの成長を支えていくことが必要です。地域活動、体験活動等を充実すると共に、何よりも子どもたちが将来に夢を持てるような取り組みが欠かせないといえます。

## 第3章 大垣市の教育の現状について

### 1. 学校教育分野

- 児童生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の「知・徳・体」のバランスの取れた力である「生きる力を育む教育」を進めてきました。
- 不登校児童生徒の学校復帰、特別支援学級における校内支援体制の整備、外国人児童生徒の日本語能力の育成など、一人ひとりに応じた教育を進めてきました。
- 特色ある学校づくり、ふるさと教育、学校施設開放、学校評価の公表などにより、地域に開かれた学校づくりを進めてきました。

#### (1) 生きる力を育む教育の推進

○確かな学力を育むため、基礎基本の確実な定着を目指した少人数指導の導入、英語を中心とした外国語教育におけるコミュニケーション能力の育成、小学校高学年に対し専門性をいかした指導である教科担任制の試験的導入などを行っています。今後、確かな学力の定着に有効な小学校教化担任制を、すべての小学校に広めていく必要があります。

☞ 確かな学力の定着

○豊かな人間性を育むため、道徳の時間と他の教育活動との関連を明確にすると共に、1家庭1ボランティアなど、家庭・地域社会と一体となった地域ぐるみの道徳教育をしています。今後も、自立心や規範意識、生命を大切にすることなど、全学年を通じて重点とする内容、実態に応じて学年段階ごとに重点とする内容を明確にし、より効果的な指導を行っていく必要があります。

☞ 豊かな情操や規範意識、道徳心の醸成

○健やかな体を育むため、学校給食を通じて食全般への関心、体育で運動に親しむ習慣を身につけるような指導をしています。子どもたちの体力、運動能力の低下は止まりましたが、運動をする子どもとあまりしない子どもの二極化の問題が新たな課題となっています。

☞ 子どもの運動への関心、体力を高める取り組みの充実

#### (2) 一人ひとりに応じた教育の実現

○不登校傾向の児童生徒や保護者の相談に応じる「ほほえみ相談員」の配置、家庭に学習ボランティアの派遣、学校復帰を支援する適応指導教室の開設など、不登校児童生徒数の減少と健全な育成を図っています。しかし、小中学校共に、国・県よりも不登校児童生徒数の出現率が高い状態が続いています。

☞ 不登校対策の充実

○障がいの重度化や重複化が進む特別支援学級には介助員を、<sup>\*</sup>ADHD等により特別な支援を必要とする通常学級には支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに対応しています。近年、通常学級を希望する保護者が多く、早い時期からの就学指導がさらに必要となってきました。

☞ 適切な指導、必要な支援を行う特別支援教育の充実

○外国人児童生徒を対象に、授業や集団生活を行うことが出来るようにするため、初期指導教室（日本語指導、算数指導、生活適応指導）、日本語教室を開催しています。しかし、自尊感情を高めたり、学力の向上を図ったりすることが必要となってきました。また、日本人児童生徒の見方、考え方を豊かにし、異なる文化を持つ人々と共に歩もうとする配慮や能力の育成が求められています。

☞ 多文化共生教育に対する理解の拡張

### (3) 地域に開かれた学校づくりの推進

○各学校では、特色ある学校をつくるため、学校・家庭・地域社会の人々への思いやり、郷土への愛着・国際感覚の高揚を図るなど、豊かな心と社会性を育む「学校夢づくり21」を展開しています。特色ある学校づくりは、保護者や地域社会を巻き込んだ活動への広がり重要になっています。

☞ 明るく活力のある地域に開かれた学校

○教育活動に地域人材等を計画的に導入し、主に体験的な活動や伝統文化に親しむことにより、地域社会との関わりが進んで持てるような教育をしています。今後も各学校が新たな地域人材を導入し、地域社会の体験的な活動と教育活動の関連を明確にし、学習への活用を図っていくことが重要です。

☞ 地域と学校が連携し、地域が学校を支える新たな仕組み

○学校を地域コミュニティやスポーツ振興の核とするため、学校施設を開放し、地域との連携を積極的に進めています。しかし、すべての学校に十分な体育用備品が整備されていないのが現状です。

☞ スポーツ活動の拡大、地域とのつながりを強化

○学校の教育目標、経営方針等を保護者や地域社会に積極的に情報提供すると共に、学校自己評価、学校関係者評価を実施・公表し、改善充実をしています。今後、評価をどのように改善に活かし、学校教育をおこなっているか、保護者や地域社会に理解と協力を得られるかが課題です。

☞ 保護者、地域と連携し、開かれた学校・活性化された学校

### < 目指すべきポイント >

◎学習意欲の向上、豊かな心、健康な体である「生きる力（知・徳・体）」の調和のとれた児童生徒を育てる。

◎保幼・小・中の一貫性ある教育を進め、未来に夢を抱き、実現していく力を育てる。

◎保護者や地域から信頼される学校をつくるため、家庭や地域との共通理解を図りながら、連携協力する。

※ADHD（Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder：注意欠陥／多動性障害）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び（又は）衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、気が散りやすく、落ち着きがありません。何かか駆り立てられるかのように衝動的な行動をとることがあります。好きなことに熱中している時には落ち着いていますが、そうでない時は自分の行動をコントロールすることが困難な場合があります。

## 2. 社会教育分野

- 大垣のふるさとを愛し、地域を支える次世代の担い手を育成するため、地域の大人と子どもの交流を進めてきました。
- 地域を支える情報拠点として、市民ニーズを的確にとらえ、様々な資料や情報を収集し、市民一人ひとりに対応できる図書館を整備してきました。
- 市民の社会参加や地域貢献など、自己実現や生きがいを実感でき、「一人ひとりがかがやけば、まちがかがやく」まちづくりをすすめてきました。

### (1) 社会教育活動の充実

- 家庭の教育力の向上を目指し、親を対象に発育・心情・ふれあい等、親の役割を、講座を通して学ぶ機会を提供しています。家庭教育講座の開催需要に対応できないため、回数の見直しと市民団体との協働事業展開を検討しています。
  - ☞ 自立心の育成、心身の調和など、教育の原点である家庭の教育力の回復・向上
- 学校休業日の地域活動として開催する講座、社会見学、奉仕活動等を支援し、親と子のふれあいや地域の大人と子どもの交流を図っています。体験型の学習機会が少ないため、講座内容の充実が求められています。
  - ☞ 地域における子どもの居場所づくり、地域が子どもを育て見守る環境を整備

### (2) 図書館・子どもの読書環境の充実

- 生涯学習の情報基地として「暮らしに役立つ市民の図書館」を目指して、様々な資料や情報を収集し、情報を求める市民に提供しています。今後は、市民一人ひとりが生きがいを持って学習できるよう、きめ細かな資料の充実、市内全域サービス網の構築、及び郷土の歴史や伝統文化を後世に伝承していくための、体系的、継続的なサービスが求められています。
  - ☞ 多様化するニーズに対応した図書館サービスの充実
- 子どもたちが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくために必要な読書活動を推進できるよう市立図書館や学校図書館の整備を図っています。今後は、学校、家庭、地域において、一人ひとりの育ちや興味に応じて、自由に、自主的に読書活動ができるような支援が必要です。
  - ☞ 子どもが読書に親しみ情感豊かな心を醸成

### (3) まちづくり市民活動の充実

- かがやきライフタウン構想を推進するため、講師を広く一般公募し、市民と行政がともに講座を作り上げていく市民協働の生涯学習事業で、陶芸、書道、絵画、料理、文学などの趣味・教養講座を生涯学習へのきっかけづくりとして「かがやき成人学校講座」を開催しています。

子どもの頃に戻って小学校で学びながら、熟年世代と小学生児童との積極的な世代間交流を図ると共に、受講生同士の仲間意識を高め、今後の社会参加や地域貢献へ繋げていくため、50歳以上の熟年世代を対象に「かがやき熟年スクール」を開催しています。生涯学習講座に対する受講生のニーズは高く、また、講師として活躍したいと希望する市民も多いため、講座数の増加と充実が求められています。

  - ☞ 市民の社会参加や地域貢献などを通じた自己実現や生きがい

### < 目指すべきポイント >

- ◎学校、家庭、地域が連携協力し、明るく健全な地域社会を構築する。
- ◎子育てに関する学習機会、情報提供、相談などを通じて、家庭の教育力を向上する。
- ◎市民一人ひとりが生涯を通じて、生きがいを持ってそれぞれの意欲や興味に応じた学習活動ができる環境を整える。
- ◎人づくり、まちづくり、歴史と伝統の継承に役立つ情報を収集、整理、保存し、利用しやすい図書館と子どもが豊かな心を持ち読書が好きになるような環境を整備する。

### 3.生涯スポーツ分野

- 少年期のスポーツ活動の推進などにより、生涯スポーツの振興を図ってきました。
- 選手の育成・強化や指導体制の確立、学校教育活動全体を通じた指導の充実などにより、競技スポーツ、学校体育、スポーツの振興を図ってきました。
- スポーツ施設・設備の整備・充実やスポーツ関係団体・スポーツクラブの育成などにより、スポーツ環境の充実を図ってきました。

#### (1) 生涯スポーツの振興

○地域や身近なところでスポーツに親しむコミュニティ活動を充実させるために、各地区によるコミュニティスポーツの普及、ヘルシーウォークを進めています。しかし、参加者が固定化しているため、新たな参加者が増えるように、魅力的な軽スポーツの普及と啓発活動に努めています。

☞ すべての人がスポーツに親しみ健康を促進

#### (2) 競技スポーツの振興

○競技スポーツを盛んにするための選手の育成・強化、体育施設の整備を進めていますが、小中高一般へと一貫した選手の育成・強化の枠組みがないのが課題となっています。

☞ 学校、競技団体、スポーツクラブ等が連携協力し、競技力を向上

#### (3) 子どものスポーツの振興

○小中学校の体育振興団体、スポーツ大会参加、実技指導者派遣のサポート通じ、児童生徒の体力の向上を図っています。しかし、運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向があると共に、小学校低学年における体力の平均値が全国平均よりも低い状況がここ数年続いています。

☞ 子どもの体力、スポーツへの意欲を高める取り組みの充実

#### (4) スポーツ環境の充実

○すべての年齢層が身近な地域においてスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らすことが出来るようスポーツ環境の充実を図っています。しかし、身近な地域でのスポーツ環境整備が望まれる中、現在、各体育施設とも老朽化が進んでいるため、計画的な施設改修をしており、環境整備の充実が必要です。

☞ 各種体育施設の改善・充実

#### <目指すべきポイント>

- ◎スポーツに親しむことを通じて、個性豊かで活力に満ちた人と地域社会の実現を図る。
- ◎身近な地域において、体力や年齢、目的等に応じてスポーツを気軽に楽しむことができる豊かな環境を整備し、有効活用を図る。

## 4. 芸術文化分野

- 特色ある芸術文化事業の充実などにより、芸術文化事業の推進を図ってきました。
- 芸術文化団体等の育成・支援などにより、芸術文化環境の充実を図ってきました。

### (1) 芸術文化事業の推進

○市民の誰もが暮らしの中で質の高い芸術文化に触れ、豊かな感性と創造性を育むため、特色ある芸術文化事業の充実、各種芸術文化情報の提供、俳句事業の充実などにより、地域文化の振興を図っています。しかし、市民の芸術文化事業に対するニーズが多様化してきており、事業の企画内容が反映しにくくなっています。

☞ 特色ある芸術文化企画の充実

### (2) 芸術文化環境の充実

○感動や喜びをもたらす、生活や心を豊かにするために、芸術文化団体の活動支援、芸術文化施設における活用環境や発表機会の充実などにより、芸術文化活動を進めています。しかし、市民のニーズは年々高度化・多様化しており、時代に即した施設として利活用が図れるよう施設の改修が必要です。

☞ 芸術文化施設の改善・充実

### < 目指すべきポイント >

- ◎市民の誰もが暮らしの中で質の高い芸術文化に触れ、豊かな感性と創造性を育む、文化の香り高いまちを創造する。
- ◎これまで培われてきた伝統的な文化を継承し、発展させるとともに、独創性のある新たな文化を創造する。
- ◎子どもたちに文化芸術に触れる感動や楽しさを伝え、感性を刺激することで豊かな人間性と多様な個性を育む機会を創出する。
- ◎学校や文化施設等を拠点とし、大垣の伝統文化に関する活動を計画的、継続的に体験・習得できる機会を創出する。

## 5.文化財分野

- 文化財施設の活用や文化財保護事業の充実などにより、文化財の保存と活用や伝統文化の継承を図ってきました。
- 文化財愛護団体の育成と活性化、また郷土の先人の顕彰などにより、文化財愛護意識の高揚を図ってきました。

### (1) 文化財の保存と活用

○文化財施設の活用、指定文化財や埋蔵文化財の保護事業、伝統芸能等の保存活動の支援などにより、貴重な文化財の保存と活用に取り組んでいます。しかし、文化財施設は建設から相当の年数が経過しており、リニューアルが必要な時期となっています。また、未整備や未調査の文化財もあり、その対応が必要です。

☞ 文化財の保護と活用

### (2) 文化財愛護意識の高揚

○文化財愛護団体の育成、文化財や郷土の先人を学習する機会の充実、市史編纂の推進などにより、郷土大垣を愛する意識を醸成しています。しかし、今後さらに文化財施設での学習機会の充実などにより、子どもたちや市民に幅広く継続的に働きかけを行っていく必要があります。

☞ 文化財や伝統文化への意識高揚、継承・発展

### <目指すべきポイント>

- ◎郷土に受け継がれている文化財や伝統文化に対する意識を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承する。
- ◎文化財の保存と活用、伝統文化の継承や文化的景観の保全、文化財愛護意識の高揚を図る。

## 6. 教育行政分野

■時代に対応した教育の確立、実施事業の点検・評価・見直しによる効率的で効果的な、教育行政運営を進めてきました。

### (1) 教育行政の推進

○歴史と文化を育む文教都市「大垣」をめざして、豊かな人間性を育むための学校教育の推進、社会教育、スポーツ、文化の振興など、幅広い分野にわたる教育行政を一体的に進めています。現在、社会が急速な変化を遂げる中、大垣市における教育を取り巻く環境も変わりつつあります。このため、教育の在り方を先達の歩みから根本までさかのぼり、大垣の歴史・文化を、教育を通じて次代に伝え、より豊かなものに発展させ、子どもたちが未来に夢を抱き、かおり高い文教のまち大垣を築いていくことが必要です。

☞ 大垣市教育振興基本方針を策定し、大垣市教育の振興・発展を、学校・家庭・地域が連携し、実現

### <目指すべきポイント>

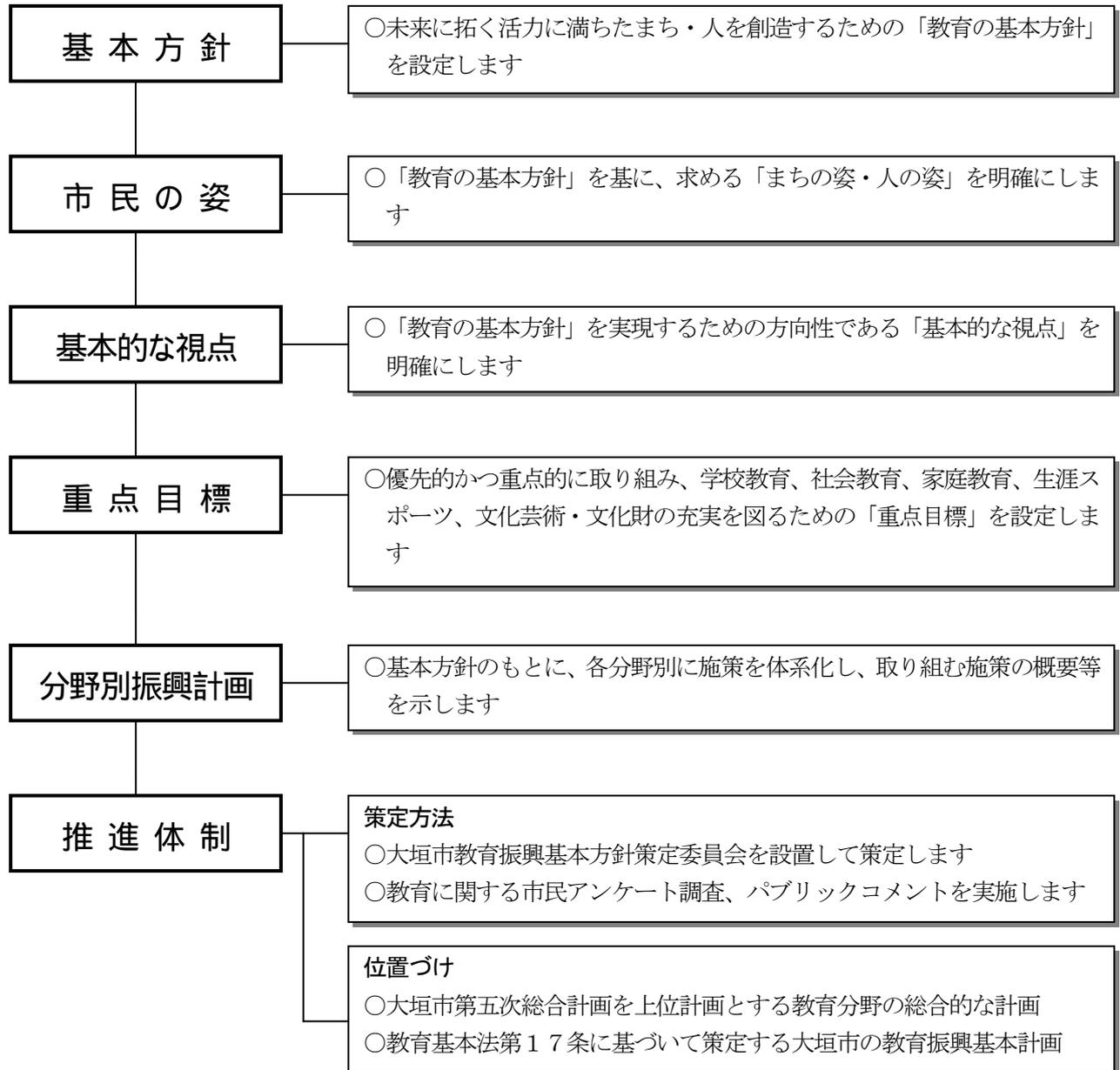
◎大垣市教育のあるべき姿を明確にし、具現化するための施策を展開する。

◎教育の抱える諸問題に対応するための組織体制を充実する。

◎「開かれた教育委員会」を目指し、その透明度を一層高めるため、市民に対して教育に関する情報提供に努め、また、教育に対する要望を的確に把握した教育行政を推進するため、市民ニーズや意見を幅広く聴取するような仕組みを構築する。

## 第4章 大垣市教育振興基本方針の骨子

### 1. 骨子の概要



## 2. 基本方針

地方分権時代における教育行政の視点で主体性を発揮し、自らの責任の下において、学校教育、社会教育活動・スポーツ活動、文化芸術活動を支援するため、「文教のまち大垣」の特性を生かした「大垣市教育基本方針」を策定するもの

- 伝統と文化を尊重し、幅広い知識と教養を身につけ、21世紀を切り拓く豊かな人間性の育成
- 学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力による安心・安全な新しい教育
- 家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他家庭教育の支援

☞ ~ ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣 ~

## 3. 市民の姿

教育には、幅広い知識と教養、豊かな情操と道徳心・奉仕の心、伝統と文化の尊重、健やかな体を身に付けることが重要な役割として位置づけられていますが、現在、教育が取り巻く環境が急激に変化しているなか、大垣地域の再生、将来の発展の原動力は「人づくり」、すなわち教育においてほかならないことから、「奉仕の心、郷土愛、豊かな心、健康」な人であふれるまちづくりを目標とするもの

求められる市民・まちの姿

○学びへの意欲と奉仕の心をもつ人であふれるまち

生涯にわたって学ぶことのできる環境を整備し、互いに支え合う奉仕の心を醸成する

○かおり高い文化と郷土を愛する人であふれるまち

大垣の伝統・文化を受け止め次代に伝え、それを継承し、より豊かなものに発展させる

○こころ豊かでたくましく生きる子どもであふれるまち

規範意識、生命の尊さ、思いやりを培い、変化の激しい時代を生きる強い基盤を養う

○スポーツ等を通して健康な人であふれるまち

生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣、意欲、環境を整え、健康を保つ

## 4. 基本的な視点

大垣市教育基本方針を実現するための、人づくりまちづくりの「方向性」を示すもの

○ひとづくりの視点

郷土の歴史と文化、産業の伝統を受け継ぎ、未来を拓く人をつくる

○文化創造の視点

地域に誇りを持ち、地域の人が融合して新しい文化をつくる

○子どもの育成の視点

子どもが未来に夢を抱き、実現していく力を育てる

## 5. 重点目標

優先的かつ重点的に取り組み、教育の充実を図るための目標

### ○学校教育の振興

保幼・小・中学校が連携し「ひたむきに生きる力」を育むための教育環境を築きます

### ○子どもの健全育成

こころ豊かにたくましく生きる子どもを育みます

### ○社会教育活動の推進

生きがいをもって活動できるかおり高い文教のまちを築きます

### ○学校、家庭、地域の連携

学校、家庭、地域が協働し、明るく健全な地域社会を築きます

## 6. 分野別振興計画

各分野別に施策を体系化し、取り組む施策の概要等を示すもの

(仮称) 大垣市学校教育振興計画

(仮称) 大垣市かがやきライフ推進基本計画

(仮称) 大垣市青少年健全育成計画

(仮称) 大垣市スポーツ振興計画

(仮称) 大垣市芸術文化振興基本計画

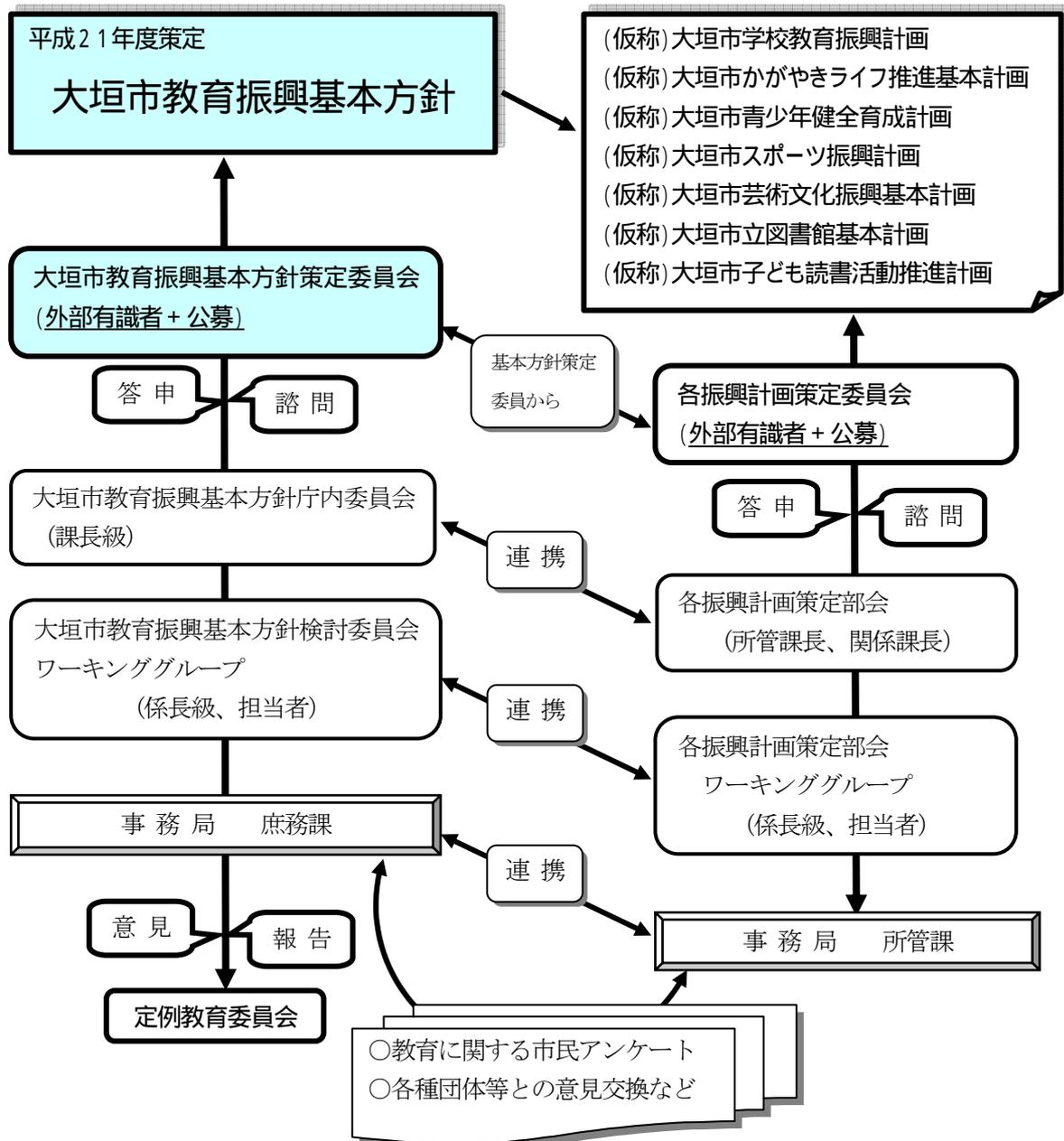
(仮称) 大垣市立図書館基本計画

(仮称) 大垣市子ども読書活動推進計画

## 7. 推進体制

### 策定方法

- 学識経験者、学校教育・社会教育・青少年育成・体育振興・文化振興・図書館関係者、市民委員（公募）で策定委員会を組織する。
- 施策の立案や実施におけるプロセスの透明性を確保すると共に、幅広い意見を得るため、教育に関する市民アンケート調査、パブリックコメントを実施する。



# 構成

大垣市の将来都市像

大垣市第五次総合計画 「水と緑の文化・産業・情報・交流都市」

大垣市教育振興基本方針の構成

## 大垣市教育振興基本方針

ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣

### 求められる市民・まちの姿

学びへの意欲と奉仕の心をもつ人であふれるまち

かおり高い文化と郷土を愛する人であふれるまち

こころ豊かでたくましく生きる子どもであふれるまち

スポーツ等を通して健康な人であふれるまち

### 基本的な視点

#### ひとづくりの視点

郷土の歴史と文化、産業の伝統を受け継ぎ、未来を拓く人をつくる

#### 文化創造の視点

地域に誇りをもち、地域の人々が融合して新しい文化をつくる

#### 子どもの育成の視点

子どもが未来に夢を抱き、実現していく力を育てる

### 重点目標

#### 学校教育

保幼・小・中学校が連携し「ひたむきに生きる力」を育むための教育環境を築きます

#### 子ども

こころ豊かにたくましく生きる子どもを育みます

#### 社会教育

生きがいをもって活動できるかおり高い文教のまちを築きます

#### 学校、家庭、地域

学校、家庭、地域が協働し、明るく健全な地域社会を築きます

### 各分野別振興計画

(仮称)大垣市学校教育振興計画

(仮称)大垣市かがやきライフ推進基本計画

(仮称)大垣市青少年健全育成計画

(仮称)大垣市スポーツ振興計画

(仮称)大垣市芸術文化振興基本計画

(仮称)大垣市立図書館基本計画

(仮称)大垣市子ども読書活動推進計画

## 第5章 各分野の方向性について

### 【重点目標】

#### 学校教育の振興

「ひたむきに生きる力」を育むための教育環境を築きます

#### 子どもの健全育成

こころ豊かにたくましく生きる子どもを育みます

#### 社会教育活動(社会教育、スポーツ振興、芸術文化振興、文化財保護、図書館活動)の推進

生きがいをもって活動できるかおり高い文教のまちを築きます

#### 学校、家庭、地域の連携

学校、家庭、地域が協働し、明るく健全な地域社会を築きます

### 1. 方向性

#### 重点目標を達成するための方向性

#### 関連する個別計画(平成22年度策定)

「保幼・小・中連携の教育」「学社融合の教育」  
「多文化共生を目指す国際教育」「不登校対策」  
を充実する  
学校教育

(仮称) 大垣市学校教育振興計画

親は子どもが最初に会う先生、家庭は最初の学校  
という「教育の原点」である家庭の教育力を高める  
家庭教育

(仮称) 大垣市学校教育振興計画  
(仮称) 大垣市かがやきライフ推進基本計画  
(仮称) 大垣市青少年健全育成計画

生涯を通じ、一人一人が自己を磨き、高めること  
のできる学習機会・内容を充実する  
社会教育

(仮称) 大垣市かがやきライフ推進基本計画  
(仮称) 大垣市青少年健全育成計画

積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成し、  
いつでも身近に親しむことができる  
スポーツ環境を整備する  
生涯スポーツ

(仮称) 大垣市スポーツ振興計画

大垣の伝統・文化を受け止め、継承・発展させ、  
豊かな心を育成する  
芸術文化・文化財

(仮称) 大垣市芸術文化振興基本計画

身近な「地域の知の拠点」として、だれもが利用  
しやすい施設とする  
図書館

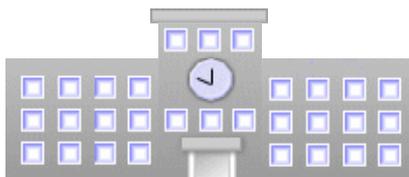
(仮称) 大垣市立図書館基本計画  
(仮称) 大垣市子ども読書活動推進計画

2. 大垣市教育振興基本方針イメージ図

大垣市教育振興基本方針

ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣

学 校



保幼・小・中連携教育を充実させる  
 学社融合教育を充実させる  
 多文化共生教育を充実させる  
 不登校児童生徒数を減少させる

家庭教育

芸術文化

文化財

図書館

学校教育

社会教育

スポーツ

地域教育

重 点 目 標

学校教育の振興

子どもの健全育成

学校、家庭、地域の連携

社会教育活動の推進

地 域



子どもを育む仕組みをつくる  
 学校、家庭との連携強化を図る

家 庭



生活習慣を身に付けさせる  
 自立心を育成する  
 心身の調和とれた発達を図る

行 政



大垣市教育振興基本方針策定委員会の設置  
 子どもたちが未来に夢と希望をもてる教育環境を整備  
 事業評価の公表、事業内容の見直し

